

工事概要

建物位置： 富山県富山市杉谷2630番地（富山大学杉谷キャンパス）

【工事概要】

工 種： 改修工事

建築面積： [解剖棟] 913.74㎡
[渡り廊下] 32.73㎡

延床面積： [解剖棟] 913.74㎡
[渡り廊下] 32.73㎡

構造・階数： [解剖棟]鉄筋コンクリート造・平屋建て
[渡り廊下]鉄筋コンクリート造・平屋建て

基本計画： 富山大学財務施設部施設整備課

実施設計： [建 築] 株式会社 綜企画設計 北陸支店
[設 備] 有限会社 松田設備設計

工事監理： 富山大学財務施設部施設整備課

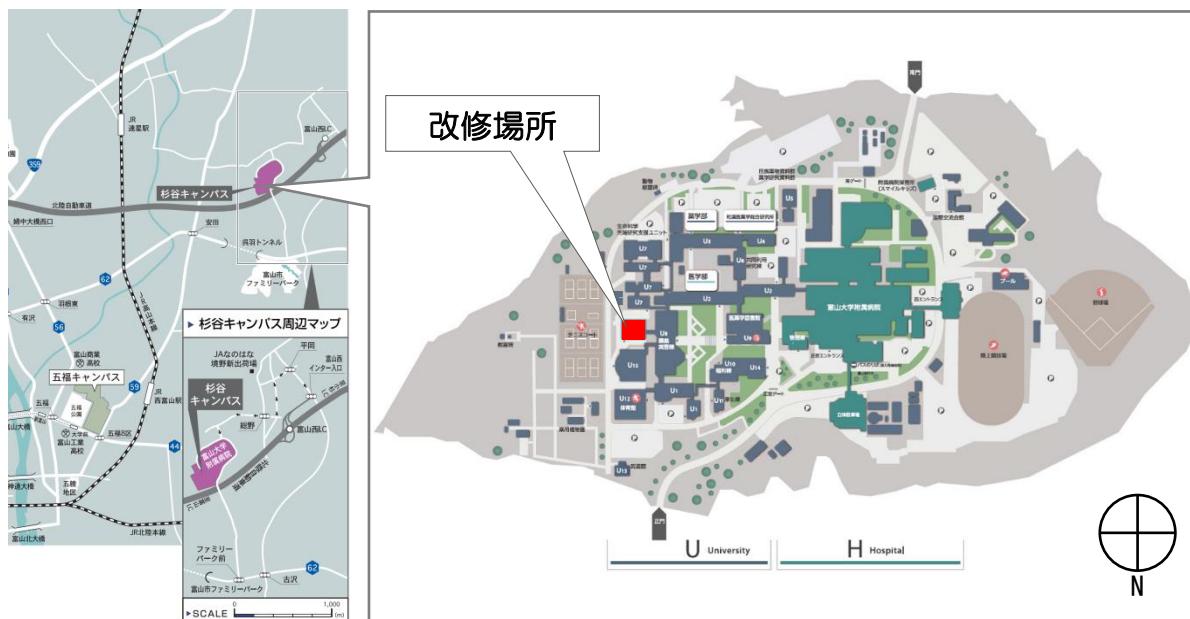
施 工： [建 築] 東武建設株式会社
[電気設備] 株式会社リライト
[機械設備] 富山ホクリョー株式会社

工 期： 令和6年9月～令和7年3月（7ヶ月間）

富山大学（杉谷）総合実習棟（医学系）改修その他工事



杉谷キャンパス



杉谷キャンパス 配置図

杉谷キャンパス 配置図



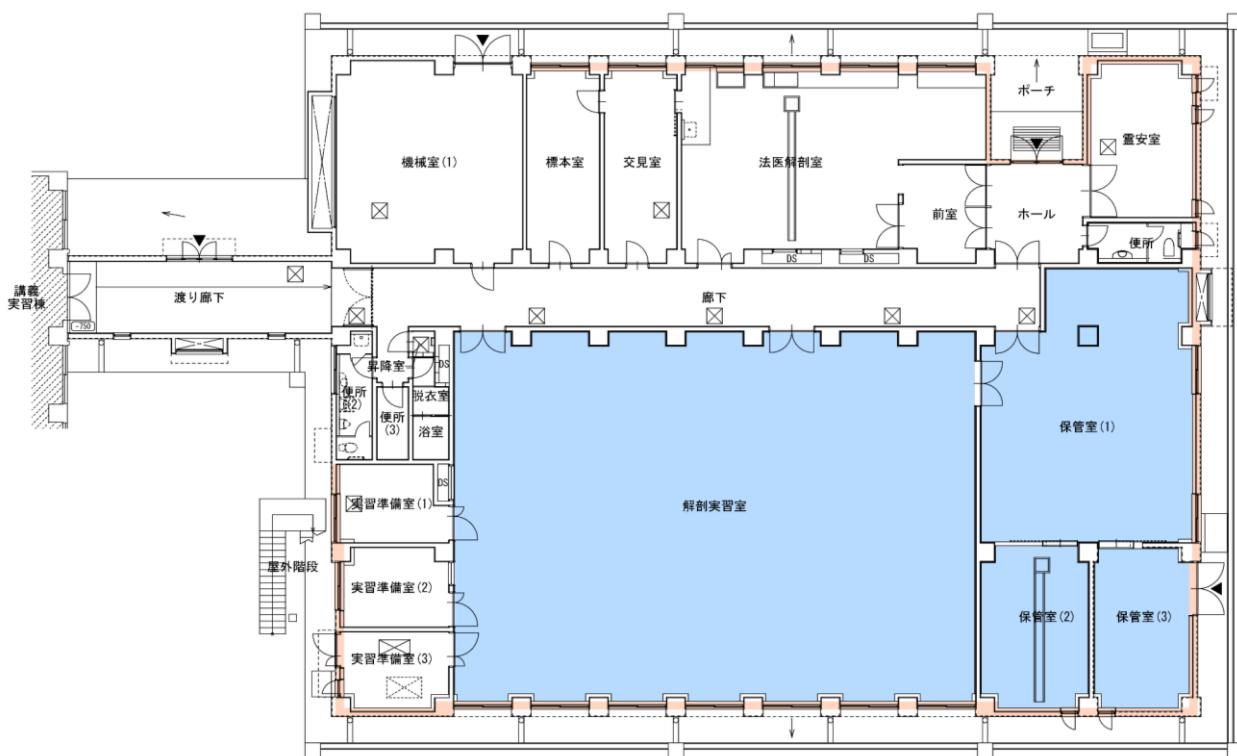
計画概要

本工事では老朽化した解剖棟の機能強化と長寿命化、環境負荷低減の実現を図るため、改修による再整備を行った。

本施設の学習研究環境の向上に必須となるホルムアルデヒド曝露対策のため、効率的な換気計画に基づく機器の選定やホルムアルデヒド吸収塗料の塗布などを実施した。

屋根や外壁への断熱材設置、外部建具の複層ガラス化により、建物全体の断熱性能を向上させて環境負荷低減を図った。

平面計画



■解剖棟平面

断熱改修を施した範囲

ホルムアルデヒド曝露対策を施した範囲

設備計画

■電気設備計画

既存の配線、配管をできるだけ再利用してイニシャルコストを低減し、設置される機材の使用に適した箇所にコンセント、情報用アウトレットを配置して施設の利便性を向上させた。

新たに増設される空調換気機器に電力を供給するために適切な動力幹線設備の整備を行い、施設の機能を向上させた。

LED照明や熱線センサー付自動スイッチを採用して施設の省エネ化を図り、法医学講座所管室は天井内の配線、配管を残置する計画として改修にかかる期間を短縮した。

また、電力供給している変圧器を高効率アモルファス変圧器に更新することにより、高い省エネ効果、二酸化炭素排出量の削減を実現した。

■機械設備計画

適切な換気計画および空調換気機器の選定により、ホルムアルデヒドが排出される室を陰圧として汚染された空気を外部に漏らさず、室ごとの適切な換気回数を確認して安全、快適な室内環境とした。

空調換気のダクトにCAV（センサー付き定風量装置）を設置して機器ごとに要求される適切な風量（風速）の供給を図った。

工事期間中にトレンチ内に仮設のガス、給排水配管を設置して工事中の法医解剖室の使用に支障をきたさない計画とした。

完成写真



解剖実習室



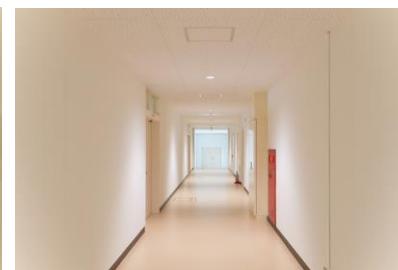
保管室(1)



保管室(2)



標本室



廊下



便所